

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成29年11月24日(2017.11.24)

【公開番号】特開2017-136417(P2017-136417A)

【公開日】平成29年8月10日(2017.8.10)

【年通号数】公開・登録公報2017-030

【出願番号】特願2017-67368(P2017-67368)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

【手続補正書】

【提出日】平成29年9月26日(2017.9.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技領域のうち、特定の転動領域内にある遊技媒体を受け入れ可能な大入賞口手段と、所定の始動条件が満たされたことに基づいて抽選を行う抽選手段と、

前記抽選手段による抽選にて特定の結果が得られた場合、前記大入賞口手段が開放される開放状態と、前記大入賞口手段が閉鎖される閉鎖状態との間で相互切り替えが行われる特別遊技を実行可能な特別遊技実行手段と、

前記開放状態から前記閉鎖状態に切り替えられた後に前記大入賞口手段に到達した遊技媒体を、前記特定の転動領域内にて転動状態が維持されるかたちで所定の有限時間にわたって留ませて、前記特別遊技において前記所定の有限時間内に前記閉鎖状態から前記開放状態に切り替えられるときに前記大入賞口手段に受け入れられうるようにする入賞慰留手段と、を備え、

前記大入賞口手段は、遊技媒体が上面を流下可能となるように形成されたスライド片を有し、該スライド片が動作することにより前記開放状態と前記閉鎖状態との間での状態変化を生み出すものであり、

前記スライド片の上面は、その長手方向における流下速度が「0」になった遊技媒体であってもこれを自重によって長手方向へと流下可能とするだけの傾斜角度を有して設けられるものであって、

さらに、

前記入賞慰留手段は、前記特定の転動領域において前記スライド片とは異なる部位で遊技媒体の流下速度を減速させる手段として設けられる

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

手段1：遊技領域のうち、特定の転動領域内にある遊技媒体を受け入れ可能な大入賞口手段と、

所定の始動条件が満たされたことに基づいて抽選を行う抽選手段と、
前記抽選手段による抽選にて特定の結果が得られた場合、前記大入賞口手段が開放され
る開放状態と、前記大入賞口手段が閉鎖される閉鎖状態との間で相互切り替えが行われう
る特別遊技を実行可能な特別遊技実行手段と、

前記開放状態から前記閉鎖状態に切り替えられた後に前記大入賞口手段に到達した遊技
媒体を、前記特定の転動領域内にて転動状態が維持されるかたちで所定の有限時間にわた
って留ませて、前記特別遊技において前記所定の有限時間内に前記閉鎖状態から前記開
放状態に切り替えられるときに前記大入賞口手段に受け入れられうるようにする入賞慰留
手段と、を備え、

前記大入賞口手段は、遊技媒体が上面を流下可能となるように形成されたスライド片を有し、該スライド片が動作することにより前記開放状態と前記閉鎖状態との間での状態変化を生み出すものであって、

前記スライド片の上面は、その長手方向における流下速度が「0」になった遊技媒体であってもこれを自重によって長手方向へと流下可能とするだけの傾斜角度を有して設けられるものであって、

さらに、

前記入賞慰留手段は、前記特定の転動領域において前記スライド片とは異なる部位で遊技媒体の流下速度を減速させる手段として設けられる

ことを特徴とする遊技機。